

## 国際経営研究所20年のあゆみ

1986年10月 学校法人神奈川大学国際経営研究所として設置

1993年4月1日 法人組織から神奈川大学組織へと移行

国際経営研究所は、現代ビジネス社会において複雑・多様な問題領域を形成する「国際経営」の理論的・実践的研究を推進するとともに、国際経営に関する教育の体系化を図ることを主たる目的としています。

研究の成果を広く社会に公表し、学問・科学の発展と社会・文化の進展に貢献することを目指しています。

### 歴代所長および構成員一覧

年度	所長	常任委員	所員数	専任研究員	客員研究員
1989	箕輪成男				
1990	箕輪成男	松岡紀雄（広報）	36名	ティオフィラス・アサモア 10.01→	
1991	衣笠洋輔	松岡紀雄（広報）	44名	ティオフィラス・アサモア	古川原哲夫
1992	衣笠洋輔	海老澤栄一(広報)	48名	ティオフィラス・アサモア →09.30	
1993	衣笠洋輔	海老澤栄一、照屋行雄 後藤 伸、榎本 誠	48名		
1994	七田基弘	海老澤栄一、照屋行雄 後藤 伸、榎本 誠	48名		堀貞一郎 10.01→
1995	七田基弘	海老澤栄一、三村真人 金谷良夫、榎本 誠	47名		堀貞一郎
1996	七田基弘	海老澤栄一、三村真人 金谷良夫、柳田 仁	47名		堀貞一郎 →09.30
1997	七田基弘	三村真人、柳田 仁 藤田昌久、大庭絵里	46名		

年度	所長	常任委員	所員数	専任研究員	客員研究員
1998	七田基弘	行川一郎、松浦春樹 大庭絵里、藤田昌久	43名		
1999	照屋行雄	行川一郎、松浦春樹 後藤伸、林悦子	42名		
2000	照屋行雄	行川一郎、松浦春樹 後藤伸、林悦子	50名		桜井武典 →12.08.01 張家楽 (12.4～13.3)
2001	柳田仁	丹野勲、三村真人 桐村晋次、榊原貞雄	46名		桜井武典 →14.03.31
2002	柳田仁	丹野勲、三村真人 桐村晋次、小澤幸夫	44名		桜井武典 (14.4～16.3) 金宇烈 (14.10～16.3)
2003	照屋行雄	後藤伸、三村真人 石積勝、菅原晴之	43名		桜井武典 (14.4～16.3) 金宇烈 (14.10～16.3)
2004	照屋行雄	田中則仁 後藤伸 石積勝 金谷良夫	46名		原田仁文 大田博樹
2005	照屋行雄	田中則仁 三村真人 石積勝 金谷良夫	46名		原田仁文 櫻井武則 湯川恵子 萩原富雄 畑中邦道 田中美和 張本越 李貞和 金宇烈 大田博樹
2006	照屋行雄	田中則仁 三村真人 石積勝 金谷良夫	47名		大田博樹 金宇烈 李貞和 張本越 萩原富夫 畑中邦道 田中美和 坂井原良夫
2007	榊原貞雄	石積勝 三村真人 松岡紀雄 行川一郎	49名		2006年度に 同じ(8名)

年度	所長	常任委員	所員数	専任研究員	客員研究員
2008	榊原貞雄	石積 勝 奥邨弘司 木村章男 小島大徳	48名		萩原富夫 畑中邦道 李貞和 坂井原良夫 山内清史 田中美和 金字烈 原 学
2009	海老澤栄一	奥邨弘司 木村章男 小島大徳 林 悦子	50名		萩原富夫 畑中邦道 李貞和 坂井原良夫 山内清史 田中美和 原 学 BISHWA RAJ KANDEL 三村真人 小淵昌夫

研究所出版物

年 度	国際経営フォーラム(特集)	研究所報	その他 ①~⑱ はプロジェクトペーパー
1989	第1号 危険な曲がり角にきた日米関係		
1990	第2号 アメリカ・企業・地域社会		英文プロシユア
1991	第3号 オーストラリア・経営・文化・社会		経営学部教員プロフィール、VAC第1号
1992	第4号 商業高等学校の教育課程		経営学部教員プロフィール、VAC第2号 VAC第3号
1993	第5号(研究プロジェクト報告・教育改革への挑戦)		経営学部教員プロフィール
1994	第6号 都市と人間	第1号	
1995	第7号 超国籍企業の分析視点	第2号	
1996	第8号 共生のマネジメント	第3号	①国際会計研究報告

年 度	国際経営フォーラム(特集)	研究所報	その他 ①～⑱ はプロジェクトペーパー
1997	第9号 日本版ビックバンの背景、 影響、問題点、今後の展開	第4号	経営学部教員プロフィール
1998	第10号 ヨーロッパ特集		② P L法問題研究
1999	第11号 中小企業経営と地域		
2000			③国際港湾物流の調査研究 ④わが国の産学における経営倫理 の実践状況の調査と考察
2001	第12号 資本市場の国際化と国際 会計		
2002	第13号 グローバリゼーションと マネジメント		⑤地球村時代の企業と地域経営の あり方 ⑥企業経営と環境 ⑦学部教育におけるカリキュラム 改革の方向性 ⑧TPビジネスとその経営戦略
2003	第14号 グローバル時代の企業リ スク		⑨国際複合輸送と港湾 ⑩地方の時代、政党に未来はある か
2004	第15号 地域の時代とビジネス革 新		⑪会計ビックバンによる企業経営 の変革
2005	第16号 価値創造のマネジメント		⑫日本と国際社会の関わり……歴 史認識の溝をどう埋めるか
2006	第17号 会社経営の論理と倫理		『コーポレート・ガバナンスの新 展開』 ⑬オータナティブの国際貢献 ⑭日本企業における競争戦略の形 成 ⑮ビジネスにおける英文契約条項 の類型
2007	第18号 組織とリーダーシップ		⑯米軍統治下の沖縄における学術 調査研究
2008	第19号 経営と環境		⑰ジェノサイドへの抵抗 ⑱教員採用試験研究

シンポジウムの概要

年 度	月 日	シンポジウムの概要
1990	06.18	◎国際シンポジウム テーマ 「企業と地域社会—アメリカの現状と将来」 アメリカ企業と地域社会—その考え方と活動の実践 アメリカにおける日系企業と地域社会 講 師 エドマンド・M・パーク博士(ポストンカレッジ・コーポレーション・コミュニティ・リレーション研究センター長) 場 所 経団連会館
	10.26	◎東京フォーラム (STSフォーラム) テーマ 「遺伝子をめぐる倫理的および社会的問題」 講 師 E・メンデルスゾーン博士 (ハーバード大学教授) 藤本典生 (早稲田大学教授) 米本昌平 (三菱生命研究所室長) 場 所 主婦会館
1991	07.6~7	◎国際シンポジウム (第2回STSフォーラム) テーマ 「生物化学兵器の歴史と現状」 講 師 森正隆氏 (映画 侵略 製作者) Vldislav Bogach (ハバロフスク大学教授) 吉見義明 (中央大学教授) 杉島正秋 (朝日大学助教授) prof. Susan Wright (ミシガン大学教授) prof. Erhard Geissler (ベルリン分子生物学研究所教授) 場 所 三省堂文化会館
1992	03.23	◎国際シンポジウム テーマ 「人間の価値展—医学と戦争—日本とドイツの違い」 講 師 米本昌平氏 (三菱生命研究室長) Hansen Friedrich (ドイツ人医師) 中川米造 (大阪大学名誉教授) 場 所 横浜キャンパス図書館
1993	実施せず	
1994	06.25	◎STS国際シンポジウム テーマ 核災害と科学技術政策 講 師 Igor Yu. Egorov (ウクライナ科学アカデミー上席研究員) 金平茂紀 (モスクウTBS)

年 度	月 日	シンポジウムの概要
1994	12.10	場 所 三省堂文化会館 ◎ S T S 国際シンポジウム テーマ 中国に遺棄した毒ガス弾と日本の戦後責任 講 師 歩 平 (黒龍江省社会科学院長) 村上初一 (毒ガス資料館長) 場 所 横浜キャンパス18号館
1995	12.09	◎ S T S 国際シンポジウム テーマ 戦後民主主義の現代を問う 講 師 Gavan McCormack (オーストラリア国立大学教授) 田畑光永 (元TBSニュースコープ・キャスター) 場 所 横浜キャンパス18号館
1996	02.22	◎ S T S フォーラム テーマ 731部隊語り部フォーラム 講 師 小笠原明、鎌田信雄、篠塚良雄、鶴田兼敏 場 所 横浜キャンパス16号館
1997	07.26	◎ S T S フォーラム テーマ 731部隊語り部フォーラム 講 師 溝渕敏美 小幡石男 場 所 横浜キャンパス16号館
1998	03.13	◎ S T S フォーラム テーマ 戦争と人間を記録する 講 師 彦坂 諱 (作家『ある無能戦士の軌跡』他) 原 一男 (映画監督) 場 所 横浜キャンパス16号館
1999	02.12	◎ S T S フォーラム テーマ 人の骨と取り組む - 物証による歴史の再構成 講 師 灰谷慶三 (北海道大学教授) 足立 明 ( " ) 馬場悠男 (国立科学博物館) 菊地 実 (財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団) 場 所 横浜キャンパス16号館
2000	12.16	◎ S T S フォーラム テーマ 戦場の日常と異常 半世紀間の戦争責任の議論を省みる 講 師 Gavan McCormack (オーストラリア国立大学教授) 山科 武司 (毎日新聞社 記者) 場 所 横浜キャンパス16号館

年 度	月 日	シンポジウムの概要
2000	10.03	<p>*写真展 12月14日～19日 (戦争の日常と異常)</p> <p>◎国際経営フォーラム                      テーマ 日韓における企業経営と経営環境                      講 師 鄭 守 源 (韓国 東西大学校教授)                      朴 尚 範 ( " )                      姜 周 勲 ( " )                      小林 好隆 (株式会社共伸・代表取締役社長)                      海老澤栄一 (神奈川大学経営学部教授)</p> <p>場 所 平塚市教育会館</p>
2001	03.30	<p>◎S T S フォーラム                      テーマ 生物化学兵器テロと私たちの生活                      講 師 Eric Croddy (米国モンレー研究所)                      石松 伸一 (聖路加国際病院救命救急センター長)                      杉島 正秋 (朝日大学法学部教授)</p> <p>場 所 平塚MNビル、ひらつかスカイプラザ</p>
2002	11.26	<p>◎国際経営フォーラム                      テーマ 中国における政治経済と企業経営・文化                      講 師 劉 玉 勁 (東北大学教授 (中国))                      曹 振 威 (復旦大学教授)</p> <p>場 所 平塚キャンパス61-251</p>
	02.15	<p>◎S T S フォーラム                      テーマ 裁かれるのは誰か 水俣病が暴き出したもの                      講 師 原田 正純 (熊本学園大学教授)                      荒川 紘 (静岡大学教授)</p> <p>場 所 横浜キャンパス3号館201教室</p>
2003	03.10	<p>◎国際経営フォーラム                      テーマ 地域の時代とビジネス革新                      講 師 斎藤 毅憲 (横浜市立大学商学部教授)</p> <p>場 所 平塚商工会議所</p>
	04.27	<p>◎S T S フォーラム                      テーマ 戦争を記録する                      講 師 山内 静代 (毒ガス島歴史研究会代表)                      山内 正之 (毒ガス島歴史研究会事務局長)                      松野 誠也 (明治大学)</p> <p>会 場 横浜キャンパス1号館804</p>
2004	02.23	<p>◎国際経営フォーラム                      テーマ 地域経済の再成と中小企業                      講 師 藤江 俊彦 (千葉商科大学教授)                      山岸 英明 (楸がんこ茶屋代表取締役社長)</p> <p>会 場 平塚商工会議所</p>

年 度	月 日	シンポジウムの概要
2004	02.26	◎STSフォーラム テーマ 原爆加害国になった日本 講 師 笹本 征男 (現代史研究者) 会 場 横浜キャンパス1号館804
2005	11.22	◎国際経営フォーラム テーマ 会社法制の現代化 講 師 照屋 行雄 (神奈川大学教授・国際経営研究所所長) 齋藤 誠 (税理士) 会 場 平塚スカイプラザ
	06.04	◎STSフォーラム テーマ 秋山豊寛氏が語る現代の環境問題と科学 講 師 秋山 豊寛 (宇宙飛行士・農民) 会 場 平塚MNビル11F
2006	12.16	◎STSフォーラム テーマ 劣化ウラン弾 講 師 振津かつみ (医師) 藤田 祐幸 (慶應大学教授) 会 場 平塚スカイプラザ
2007	.11.17	◎STSフォーラム テーマ 戦後日本医療犯罪史の原点 講 師 田井中克人(ジフテリア予防接種の被害者) 会 場 横浜キャンパス1号館308
	11.29	◎国際経営フォーラム テーマ 究極のごみゼロ社会を目指して 講 師 笠松 和市 (徳島県上勝町長) 松岡 夏子 会 場 平塚市中央公民館ホール
2008	11.21	◎フォーラム テーマ 建築で世直しをしたい -母と娘で「住育」を提唱 講 師 宇津崎光代 宇津崎友見 会 場 湘南ひらつかキャンパス6-302
	02.28	◎STSフォーラム テーマ 強制連行の現場から -135事業所を歩いて感じたこと- 講 師 野添憲治 (作家) 会 場 横浜キャンパス1-308



講演会、研究会等の開催

年 度	月 日	講 演 会 の 概 要
1990	06.21	企業と社会 アメリカの現状と将来 エドモンド・M・バーグ (ボストンカレッジ・コーポレーション・コミュニティ・リレーション研究センター所長)
	11.30	ドイツにおける企業と会計・監査・法律制度 本多潤一 (監査法人トーマツパートナー、公認会計士)
	12.06	ニュージーランドの政権交代について リタ・エヴァンズ (カンタベリー大学日本語科研究員)
	01.16	オーストラリアにおける日本の労使関係 Roos Elliot Mouers (オーストラリア モナシュ大学日本研究センター長)
1991	05.20	アメリカ人と国立公園 Donald Worster (カンサス大学教授)
	06.06	アメリカの高校、大学生生活 高橋恭子 (ハーバード大学学生)
	06.19	ラテンアメリカの開発と環境 小池洋一 (アジア経済研主任研究員)
	07.04	アボリジナルの口承文芸と歴史 Sally Morgan (西オーストラリア州画家・作家・心理学者)
		図書を通じてみるニュージーランドの暮らしと歴史 Rachel Mcalpine (ニュージーランド詩人)
	10.03	グローバル化した世界経済と公認会計士の役割 川北博 (監査法人トーマツ会長)
	12.13	証券取引所の役割と国際化への対応 久保幸年 (東京証券取引所人事課長)
	12.19	今日のポーランド Wojciech Bienkowski (ワルシャワ商科大学教授)
1992	07.02	東京ディズニーランド成功の秘密 堀貞一郎 (エル・ユー・シー会長)
	06.09	社会における会計学の役立ち—税金や職業会計人の問題点について 富岡幸雄 (中央大学商学部教授)
	11.05	スリランカの国と文化 G.Wijesuriya (ニルマナ・アソシエート・インターナショナル理事長)
	12.03	ニュージーランドと日本：太平洋国家の一員として Ian Bruos (ネピア高等学校教諭) Frances Hall (マッセイ大学日本有機農業研究者)
	01.30	オーストラリア現代文学 Leite Douglas Morton (ニュー・カースル大学教授)

年 度	月 日	講 演 会 の 概 要	
1993	05.27	アジア平和と民間外交 藤田幸久 (社国際MRA日本協会専務理事)	
	06.03	会計思考の変遷 宇南山英夫 (文京女子大学教授)	
	06.22	私の公認会計士二次試験合格作戦 佐々木教雄 日本の大学、アメリカの大学 G.C.ハースト (カンサス大学教授)	
	08.23	子供の本の魅力 ドロシー・パートラー (ニュージーランド児童文学者)	
	10.28	戦後日本における企業経営と時代的特徴 山崎春夫 (前日立クレジット㈱家電部長)	
	11.18	C.P.Aカシタニが駆けていく 経営マの逆襲 樫谷隆夫 (ブレインコア代表取締役、日本公認会計士協会常務理事)	
	11.30	近代西欧文明受容における中国と日本の異同 庄錫昌 (復旦大学文博学院長)	
	12.08	バルカン・ユーゴ 悲劇の深層 12/08 加藤雅彦 (国際地域研究センター所長)	
	01.13	PR会社の役割 石川祐子 (サンド薬品㈱広報担当)	
	01.14	NHKのラテンアメリカ、ラテンアメリカのNHK 淵上英二 (元NHK南米特派員、早稲田大学教授)	
	1994	04.27	フロン問題とオーストラリアの対応 Bryan Martin (オーストラリア・ウーロンゴン大学講師)
		06.07	アラビア科学の三つの謎 イスラム文化と科学 A.J.Sabra (ハーバート大学教授)
		06.25	チェルノブイリのその後 Igor Yu. Egorov (ウクライナ科学アカデミー上席研究員)
06.29		ブラジルの暮らしと経済 小池洋一 (アジア経済研主任研究員)	
07.06		中小企業の経営実務と会計システム 関町肇 (B.O.S.研究所長)	
10.11		中国宗教芸能の研究動態 曲六之 (中国演劇学会常務理事)	
10.13		ロシアの研究開発 Erkki Kaukonen (フィンランド・サンペール大学教授)	
11.22		ニュージーランドの学生と話し合おう Katherine Susan Lupion (マッセイ大学生) Shani George Newth (マッセイ大学生)	

年 度	月 日	講 演 会 の 概 要
1994	12.08	会計実務ならびに税務実務の実体 千葉哲範 (デロイン・トーマツ・勝島敏明税理士事務所) キューバ現代美術文学におけるアフロ・カリブ文化の影響 アデライダ・デ・ファン (ハバナ国立大学教授) ロベルト・フェルナンデス・レタマル (カサ・デ・ラス・アメリカス 総裁)
	01.10	テーマパーク概説 堀貞一郎 (エル・ユー・シー会長)
1995	06.22	ニュージーランドと日本 21世紀にはばたく Victor Kuipers (国際連合大学教授)
	07.28	アジアにおける企業倫理研究 中国の追従行事 鬼の源流を探る 余達喜 (江西省舞踏家協会秘書長)
	11.30	ニュージーランドでは今 Sarah Macann (カンタベリー大学生) Michelle McBwan (カンタベリー大学生)
	11.30	企業とPR会社における広報の実務 石川祐子 (サンド薬品(株)広報室長)
	12.07	世直しボランティアの薦め予防・仲介外交の現場から 藤田幸久 (社国際MRA日本協会専務理事)
1996	05.22	ラテンアメリカの音楽 ～伝統と大衆の感性～ ジュラル・バーグ (テキサス大学音楽学部教授)
	11.18	ゼロエミッション = 持続可能な産業システムの構築への道 谷口正次 (秩父小野田(株)専務取締役)
	11.21	行政改革とニュージーランド アナリス・サンダース (カンタベリー大学生) シェーン・ヘンダース (カンタベリー大学生)
	11.28	韓国の経済および文化事情について 朴餅洪 (韓国圓光大学校教授)
1997	10.28	ヨーロッパ統合の現状と将来 走尾正敬 (日経新聞論説委員)
	12.04	日本とニュージーランドの大学生活 カイラ・ミシェル・スティーンハート (カンタベリー大学生) スコット・サザーランド ( " )
	12.20	中国の製造業とその国際的展望 沈慶安 (帝国ビストリング生産技術部)
1998	6.25	グローバル・スタンダードISO9001認証取得の実際 澤 安雄 (株・VEC推進部・前ISO推進グループ長)
	10.13	大学と地域と商工会議所 松上 茂 (平塚商工会議所会頭)

年 度	月 日	講 演 会 の 概 要
1998	11.19	ニュージーランドの社会・日本の社会 ヘザー・マッケンジー (カンタベリー大学生) ロビン・ジュン ( " ) 小林揚吉 (朝日新聞社「天声人語交換学生制度」担当) 堀江直樹 ( " )
1999		なし
2000	07.05	グローバル時代の証券市場 久保幸年 (東京証券取引所上場審査部部長、大蔵省企業会計審査委員)
	12.14	中小企業の経営環境とマネジメント・スキル 関町 肇(中小企業診断士・BOS経営研究所代表)
2001	07.03	最前線からの実践的国際マーケティング 坂本昭雄 (㈱トーキン取締役・前NEC支配人)
	12.14	中国(瀋陽)における社会の設立と運営 牧野正弘 (瀋陽東芝エレベータ社・代表取締役社長)
2002	06.04	単独国家より合衆国国民として 荒井権八 (荒井商事㈱ 代表取締役会長)
	12.11	会計と監査と企業倫理 小池聖一・パウロ (公認会計士)
2003	07.12	改正商法と資本の会計 主催・横浜企業経理研究会 後援・国際経営研究所 照屋行雄 (神奈川大学国際経営研究所・所長)
	07.16	セクシャル・ハラスメントの防止 共催・神奈川大学 後援・国際経営研究所 林 悦子 (神奈川大学経営学部教授)
	11.25	近世における交通と商業-東海道平塚宿の発展を中心として 土井 浩 (平塚市博物館・館長)
	12.11	日本企業の特徴とコーポレート・ガバナンス 菅井義夫 (UIゼンセン同盟・副会長)
2004	07.8	日本の姿 主催・湘南ひらつかキャンパス図書館 協力・紀伊国屋書店 後援・国際経営研究所 姫田忠義 (映画総監督)
	07.20	V S E T戦略的思考法の論理と実務 関町肇 (BOS研究所長・中小企業診断士)
2005	06.30	現代企業の組織再編戦略-ライブドアのM&A戦略に学ぶ 堀江要蔵 (横浜信用金庫主任専門役・中小企業診断士)
	11.08	朝鮮半島の統一と日本 ユン・ピルソク (元朝鮮大学校理事長・経営学部教授)

年 度	月 日	講 演 会 の 概 要
2006	06.2	コーポレート・ブランドの構築戦略-企業価値創造の戦略パラダイムとブランド価値の評価 杉山茂之（スギヤマ・コーポレーション取締役副社長）
	10.27	明日の経営を創る-会計を活かした体質強化の進め方 照屋行雄（神奈川大学国際経営研究所・所長）
	10.14	中小企業の経営環境と経営革新 森田和光・新海貴弘・田中美和・金宇烈
	12.14	国技大相撲の精神と様式 高砂親方（元大関朝潮）
	03.20	オータナティブの国際貢献 北谷勝秀（NPO「2005」理事長） 長谷川祐弘（前国連事務総長特別代表）
2007	11.17	ドロッカー研究会 未来学者としてのドロッカー -その現代的意味- 坂井原良夫(元埼玉大学教授・元神奈川大学経営学部教授)

#### 文部省科学研究費による研究調査

歴史的遺産の資源化	代 表	七田基弘
	メンバー	衣笠・箕輪・常石・海老澤・後藤・菅原・田畑 アサモア・丸岡・廣田・堀
	期 間	1996年～1998年
	予 算	500万

#### 神奈川大学共同研究奨励

21世紀における中小企業経営のあり方	代 表	海老澤栄一
	メンバー	後藤・丸岡・菅原・林・照屋
	期 間	1999年～2000年
	予 算	390万

ネットビジネスによる新時代のビジネス	代 表	ティオフィラス・アサモア
	メンバー	岡崎彰・関口博正・大橋・三村・青木
	期 間	2000年～2001年
	予 算	385万
グローバル時代のビジネスリスク研究	代 表	松枝迪夫
	メンバー	行川・金谷・橋本・松浦・丹野・桐村・藤田
	期 間	2001年～2002年
	予 算	400万
環境問題の国際的連関に関する総合的研究	代 表	菅原晴之
	メンバー	柳田・丹野・廣田・加藤・田畑
	期 間	2002年～2003年
	予 算	290万
企業のコーポレート・ガバナンスと経営革新	代 表	後藤伸
	メンバー	海老澤・照屋・三村・関口・石積
	期 間	2004年～2005年
	予 算	375万
教員のキャリア形成に果たす神奈川大学の役割	代 表	鈴木そよ子
	メンバー	関口昌秀(経営学部) 河上・入江・大西・古屋・岩澤(人間科学部)
	期 間	2007年～2009年
	予 算	600万

国際経営研究所プロジェクトの沿革

1990	海外広報実態研究
〃	広報記録整理
〃	意思決定の日米比較
〃	科学・技術と社会 (STS)
〃	日米企業の経営現地化戦略
〃	付加価値付きキャンパス (VAC)
〃	国際会計
〃	地域研究
〃	オセアニア研究
1991	日本企業の国際化
〃	情報ネットワーク
1992	人的資源管理 (HRM)
〃	経営のグローバル化
〃	美術と文化
〃	東南アジアにおける華僑と中国
〃	教職研究
1994	21世紀研究
〃	超国籍企業研究
〃	アジア企業の経営比較
〃	アジアにおける企業倫理
1995	テーマパークプロジェクト
1996	キャンパスネットワーク構築とネットワーク教育
〃	製造物責任(PL)研究
〃	P&D面コスト面での国際比較
1997	国際港湾物流研究
〃	西欧の受容研究
〃	産学の経営倫理
〃	ヴァーチャル・ミュージアム
1998	地球村時代の経営のあり方
〃	企業経営と環境
〃	情報ネットワークのQ&A

1999	演習科目研究
〃	国際経営学の研究と戦略
2000	TPビジネスとその経営戦略
2001	脱ローカリズム研究
〃	国際ロジスティクス戦略
2002	経営学分野を統合した企業評価基準
〃	会計ビックバンによる企業経営の変革
〃	中国の政治・企業経営
2003	マルチメディア・デジタルコンテンツのノンリニア方式による効果的な加工方法の開発
〃	アジアにおけるeコマースの展開
2004	日本と国際社会の関わり
〃	日本人による初期ゴルフ場建設とゴルフクラブ設立
〃	オータナティブの国際貢献
〃	Classification of Various Forms of...
2005	米軍統治下における琉球諸島
〃	公企業の利益概念
2006	教員採用試験
〃	ジェノサイドへの抵抗
2007	オータナティブの国際社会統治
〃	アジアのコーポレート・ガバナンス
〃	ドラッカー研究
2008	日本論グラントセオリーの新展開
〃	教員免許更新講習
〃	21世紀における新しい企業システムの構築
2009	CSR報告書研究
〃	冷戦期東アジアにおける米国の文化戦略
〃	SHCにおける英語学熟度に見るダイナミズム
1992～1999	オセアニア研究センター
1990～	STS研究センター
2005～	SME研究センター(中小企業の経営環境と経営革新)
2008～	国際経営出版センター